

甘楽町消防団・交通指導隊・甘楽分署

秋季検閲式



ポンプ操法検閲

地域の安全、未来の安心を守る

秋季検閲式が10月22日、甘楽中学校校庭で行われ、中里泰明団長のもと日頃の訓練で培った消防技術の成果を披露しました。

今年は、姿勢服装検閲や消防団と分署による中継放水訓練、分列行進などに加え、4年ぶりにポンプ操法検閲とラッパ吹奏検閲も復活し、コロナ禍前と同様の点検項目で実施されました。

検閲者である茂原町長は「訓練が制限された時期を乗り越え、検閲式が執行できたことをうれしく思うとともに、消防団、交通指導隊、甘楽分署の皆さんに敬意と感謝を申し上げます。今後も地域の安全と安心を守るために皆さんの活躍を期待します」と講評しました。

このほか、消防活動に功績のあった退職団員や家族に表彰状が贈られました。



歴史を感じさせる甘楽町消防団長の「刺し子はんてん」



分列行進



ラッパ吹奏検閲



交通指導隊の装備点検

退職消防団員 (敬称略)

◎消防庁長官表彰「退職消防団員報償銀杯」・日本消防協会功績章表彰・県消防防災功労知事表彰・県永年勤続退職団員表彰・町永年勤続退職団員表彰
峯岸藤喜(前団長)

◎消防庁長官表彰「退職消防団員報償銀杯」・県永年勤続退職団員表彰・町永年勤続退職団員表彰
長谷川哲哉(前1分団長) 清水悦司(前2分団長)
吉田達也(1-2元部長)

◎町永年勤続退職団員表彰

大竹龍介(1-1前部長) 浅川浩之(2-1元部長)
笠原 剛(2-3元部長) 新井大雄(2-3元部長)
中野 昂(1-1前班長) 金井勇祐(2-2前団員)

県消防団員配偶者表彰 (敬称略)

峯岸弥栄子(前団長夫人)



表彰式



「森林整備で甘楽の森を豊かに」



高野憲一 隊員

昨年6月に地域おこし協力隊として着任し、1年5カ月が経ちました。私は、山登りが好きで林野庁に就職し、森林・林業行政の仕事を長年してきました。また途上国でJICA(国際協力機構)の技術専門家としてパナマ、フィリピン、ケニアなどで林業技術指導に携わってきました。

甘楽町とは、NPO法人『自然塾寺子屋』の活動や群馬森林管理署の勤務を通じてご縁があり、17年前から度々来たことがありました。

3年半前からは甘楽ふるさと農園の畑を借りて野菜づくりを始めました。当時は東京から週末ごとに農園に通いました。そうした中で甘楽町に住みたいと思うようになり、地域おこし協力隊として働く機会を得ることができました。



高崎商科大学生を林業の現場に案内

活動としては、これまでの経験を生かして町が現在進めている森林経営管理制度(所有者が管理できない森林を町が委託を受けて管理する制度)の実施や『甘楽の天然水商品化プロジェクト』の中で森林・林業の講義、林業現場の案内



『甘楽の天然水商品化プロジェクト』メンバーによるスギの植栽体験

や植栽体験のお手伝いをしています。

今、森林は私たちの生活にとって身近な存在ではなくなっているかもしれませんが、生活環境を守ってくれる大切なものだと思います。その大切な甘楽の森林が少しでも豊かになるように私も貢献できればと思っています。

今年4月から妻も甘楽に来て生活しており、夫婦でお世話になります。夫、よろしくお願いします。

善意の紹介

●株式会社親広産業(高崎市)
(株)東和銀行の「東和SDG私募債」を活用し、町に『車椅子5台』を寄付されました。



町長に目録を手渡す岡田社長(右)と東和銀行の石関高崎支店長(左)

この事業は、寄付・寄贈を通じてSDGsの達成に貢献したい企業が私募債を発行し、金融機関が受領する私募債発行手数料の一部をSDGsに取り組んでいる団体などへ寄付・寄贈を行うものです。

善意に深く感謝し、広く皆さんにお知らせします。



高崎商科大学公開講座での講義